



平成27年6月8日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

名古屋港の物流機能を強化、大型船舶の航行を可能にするための浚渫作業が大詰め ～航路を示す灯標の移設工事を実施～

■概要

中部地方整備局名古屋港湾事務所では、大型コンテナ船が航行できるようにするため、浚渫兼油回収船清龍丸により、東航路の水深を15mから16mへ増深する浚渫工事を進めています。

最終段階として、灯標周りの浚渫を残すのみとなりました。

灯標の移設は、船舶の安全と浚渫作業の支障とならないよう、航路沿いに北へ200～250m移設するものです。

第1段として2基(No. 8、10)を、5月31日に500t吊り起重機船により移設を行い、6月26日にもとの位置へ復旧します。

今後灯標2基(No. 11、14)についても、移設・浚渫作業終了後、復旧作業を行う予定です。

名古屋港では船舶の大型化に対応するため、平成27年秋ごろを目途に航路水深16mでの暫定供用を目指しています。

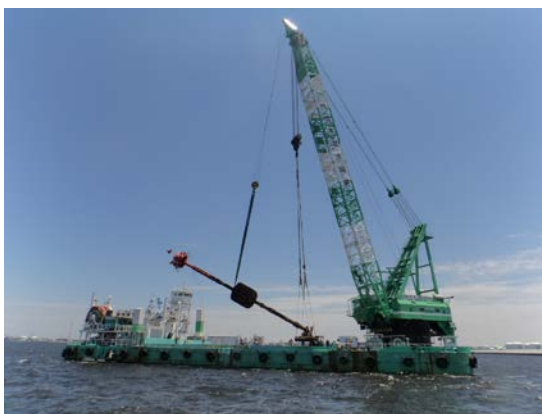
■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

■問合せ先

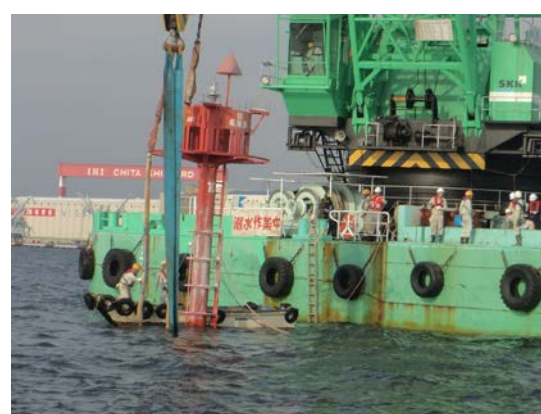
国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

保全課 神藤(じんどう)・山口 TEL 052-651-6594 FAX 052-651-6287

■移設作業の様子



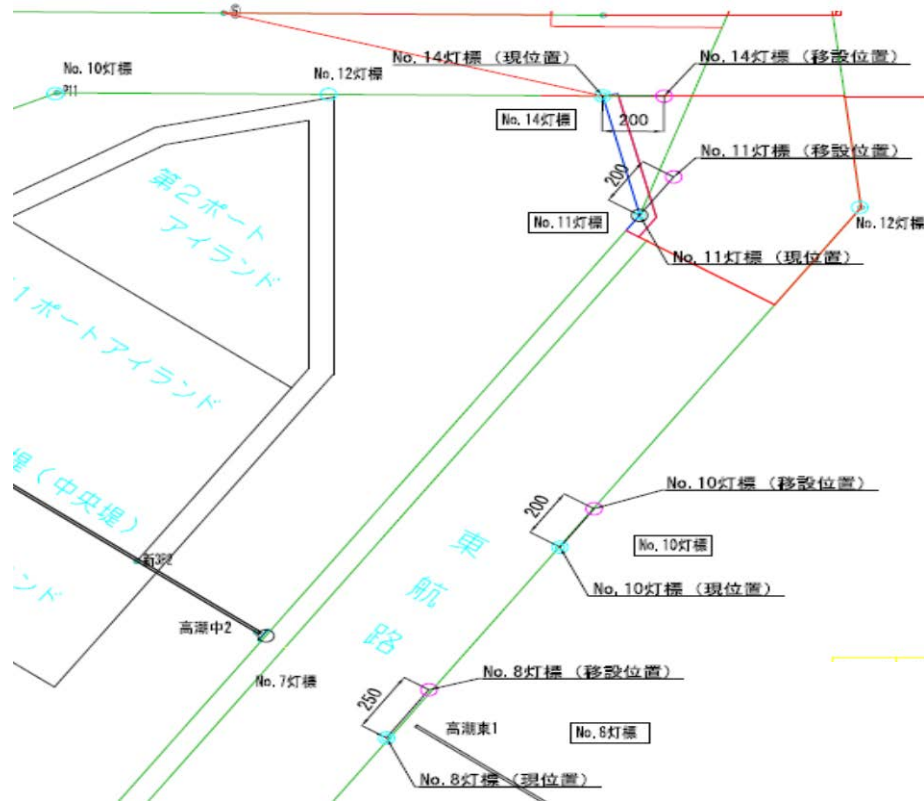
灯標移設状況①



灯標移設状況②



■灯標移設作業位置図



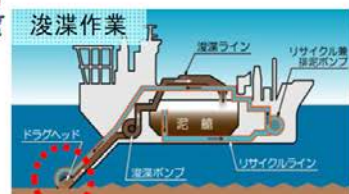
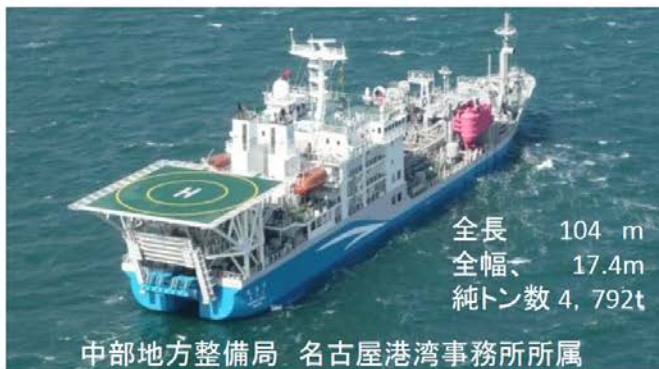
■作業予定図

灯標番号	作業工程	平成27年5月				平成27年6月						平成27年7月					
		18 月	19 火	30 土	31 日	1 月	2 火	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	15 水	16 木	17 金	18 土
No. 8・No. 10 No. 11・No. 14	事前調査 移設準備	●															
	予備日	●															
No. 8	移設・復旧日					●		●									
	予備日					●		●									
No. 10	移設・復旧日					●		●									
	予備日					●		●									
No. 11	移設・復旧日											●		●			
	予備日											●		●			
No. 14	移設・復旧日											●		●			
	予備日											●		●			
清龍丸渡渡						●											

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl (ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。